

畑崎賞に3人と2団体

地域貢献 南あわじの中川さんら

大手アパレルメーカー「ワールド」(神戸市中央区)創業者の畑崎廣敏さんが創設した畑崎財団は23日、「第3回畑崎記念フアッシュヨナブルエーシング

賞」の受賞者を発表し、地域に密着した社会貢献活動に取り組む3人と2団体を選んだ。3月2日に同市中央区の神戸国際会館で表彰式がある。

「年を重ねても明るく健康で内面が充実した生き方」の実現に向け、多彩な方面で活動する人をたたえ、2013年度に賞を創設。今回は3分野

に27件の推薦があった。

健康づくり分野では、福祉施設などで植物の栽培、管理を通じた園芸療法に取り組む「真園芸療法士会」(淡路市)が選ばれた。

知的活動分野は2人。南あわじ市の中川宜昭さん(76)は同市の沼島でボランティア

ガイド「ぬぼこの会」を立ち上げ、地域活性化に貢献した。神戸市長田区の山本豊夫さん(78)は、ドラム缶を加工した打楽器「ステイールパン」演奏で被災地を元気づける「アスタ新長田ステイールパン振興会」代表を務める。

社会奉仕活動分野では1人と1団体を選出した。篠山市の梶谷郁雄さん(68)は地元の中心となり、廃校校舎を活用した交流施設「里山工房くもべ」を整備。森林ボランティア菊炭友の会(川西市)は里山保全活動や児童の環境学習、希少植物の保全などに取り組んだ。

(斉藤正志)